



美馬ロータリークラブ週報

9月9日 火曜日

Vol.405

例会出席者 22名 (会員数 29名) 出席率 75.9%
メーキャップ 青木茂生・矢野太一(9/7)・青木博美 修正出席率 86.2%
ゲスト 脇町RC 片山良樹さん

- 会長挨拶 今日では月見例会ということで「月を鑑賞」しながらの例会となりました、一日中、良い天候に恵まれていましたので、きっときれいな「お月様」が見えますことを期待したいと思います。皆様は、もうすでに「RIの使命」はご存じであると思いますが、再度申し上げますと、「ロータリーの使命は、職業人と地域社会のリーダーのネットワーク(親睦)を通じて、人々に「奉仕」、高潔さを奨励し、世界理解、親善、平和を推進することとしています。ぜひみなさん今一度、このことを実践していただけるようお願いいたします。この日の準備にあたり、知恵を絞り、準備して下さった親睦委員会の皆様に感謝申し上げます。

■幹事報告

本日は脇町・うだつの街並みにあります「藍蔵」さんにて、特別に月見の宴を設けております。ニコニコはございません。お月見に際しまして、お二人からご芳志を頂いておりますので、あとで紹介させていただきます。

■委員会報告

- 親睦委員会 長浦委員長/本日は月見例会となっております。大いに月を愛でながら、みなさん親睦を深めてください。本来なら、営業時間が終わっておりますが、今回は特別に藍蔵の代表と社員さんに残って頂きまして、この席のお世話をさせていただきました、この場を持って御礼申し上げます。森副委員長/今宵の十六夜で皆さん一句お願いします。片山さんの評を頂き、後日発表致します。

■外部卓話(脇町RC 片山さんを講師に迎えて・月見句会)

名句「名月や 暈の上に 松の影」

芭蕉が示した不易流行 不易は変えてはいけないもの/流行は変わらなくてはいけないもの。世の中はこの二つがあって成り立っているものだと、松尾芭蕉が言っていました。その通りだと思います。風流人・王侯貴族のものであった俳句を、庶民のものにしたらしめた芭蕉の功をねぎらいたい。季語・定型・写生などがあつての俳句、作者と読者との合作である。短歌は心情を詠む歌だ。

・名月 / 旧暦八月十五日の満月・中秋の名月 ・十六夜(いざよい) / 旧暦八月十六日の月
・季語 / 良夜・月見・月の宴・観月・月見酒・月の客・月の友・月を待つ

■月見例会に際して

- 川田会員から 川田光栄堂の月見団子を差し入れいただきました。
- 青木会長から 月見例会にとご芳志をいただきました。

次回例会
プログラム

2014年9月16日(火) 18:30からレストラン西岡
交換留学生報告(小田研斗君・小田教仁さん)

宇山裕士/小田教仁/田野寿一/中元香/三好亘/山内浩司/林秀樹

☆ 欠席の会員はメークアップをお願いします。次回例会に欠席の会員は出席委員長までご連絡をお願いします。

